

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和5年度
学校だより No. 8
令和5年 7月13日

市川市立第二中学校
校長 杉山 哲

ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/dai2-chu/>

全校道徳「いじめについて考える」

生徒会が年間を通して取り組んでいる、SIC（ストップいじめキャンペーン）の一環として、「いじめ」をテーマに全校道徳を行いました。

「道徳」といっても先生は見守るだけで何もしません。準備・運営・進行の全てを生徒が行い、全ての二中生に自分事として「いじめ」について考えてもらおうという企画です。

全学級をリモートで繋ぎ、初めに生徒会本部の生徒（以下、生徒会）が、この取組の趣旨や本日の流れを説明します。

次に、①「SNSいじめ」、②「独占欲いじめ」、③「嫉妬いじめ」の3本の動画（作・演出・出演…全て生徒会による完全オリジナルです）を流し、1年生は①について、2年生と白百合学級は②について、3年生は③について考え、話し合っていきます。（3本の動画とも全学年に流れます。「他学年のものについても考えてみてください」とのことでした）

各学級の進行は、事前に生徒会から説明を受け趣旨や流れをよく理解している学級委員が行い、生徒会も学校全体を回って各クラスの様子を確認して必要に応じてサポートします。

3本とも実際の学校生活でありそうな（もしかしたら既に類似の体験をしているかもしれない）、絶妙に考えさせられるストーリーなので、自然にいろいろな考え方や意見が出て、どのクラスの話合いも活発なものになっていました。先生は一切口出ししないので、いわゆる優等生的な意見だけではなく、「自分だったらこうしてしまうかも…」といったホンネの意見もたくさん出てくるのですが、そういう所もこの活動の大きな意義だと感じます。

最後は、各クラスから出た意見を、他学年のものも含めて全校で共有し、生徒会長が学年ごとにコメントして取組は終了。全ての意見に寄り添い、今後の生活に役立つような意見をうまく取り上げていて、生徒会の思いが伝わってくる、心に残るコメントでした。

生徒会の力、二中生の力を改めて感じる素晴らしい取組でした。いじめについて、自分事としてホンネで考えることで、考え方や意識が深まる、大切な時間になりました。



さわやかスポーツフェスタ

白百合学級が、国府台スポーツセンターで行われた「さわやかスポーツフェスタ」に出場しました。市内の特別支援学級設置校10校による、合同のスポーツ大会です。

最初の種目は「ゴールをめざして」。途中でフラフープの輪をくぐり抜け、その後はゴールを目指して一直線に走る徒競走です。始めは緊張気味だった白百合のみんなですが、自分の番が来ると夢中で走り、ゴールテープを切ると自然に笑顔がこぼれました。

次の種目は「サークルターゲットスロー」。ポッチャのボールを、数メートル先に置いた輪をめがけて順番に投げます。二中は三中とチームを組んで戦いました。惜しいスローが何度もあったのですが、なかなか輪の中に留まらず…。ちょっと悔しい…でも楽しい競技でした！

休憩を挟んで、いよいよ最後の種目は「ラインサッカー」です。相手のチームはボール慣れしている生徒が何人かいて、手強い印象。開始早々防戦一方でしたが、猛攻をみんなですり抜き、ゴールを許しません。ボールを持てば、仲間にパスを出しながら、果敢に相手のゴールをねらい、惜しいシュートも何本か…。みんな頑張っ、みんな活躍して、めちゃくちゃ見応えのある、とてもいい試合でした！（結果は2試合とも惜敗でした…f(^-^)

閉会式では、二中生が司会を担当して、立派に務めてくれました。どの種目にも全力で取り組んで、スポーツの楽しさを改めて味わい、いろいろな学校の友達と楽しく交流できて、学級の仲間との絆も深まって…。思い出に残る、いい半日になりました！

学校生活の様子を、二中ブログ（HP）に掲載しています。ぜひチェックしてみてください！

